

ジャパン・プレミア
(日本初公開)

ヒロシマ平和映画祭 2011 11/29～12/11

ドイツ映画『AUGUST (アウグスト)』(83分 監督 東美恵子)

※広島フィルム・コミッション支援映画

東監督来場

～マルセイユのドキュメンタリー映画祭で

ジョルジュ・ド・ポールガール賞の特別賞を受賞～

12月4日(日) 14:55-広島国際青年会館研修室にて上映

ドイツー広島、8月6日。ヒロシマをさまよい、そして記憶する。

ドイツ人小説家ヨハンナが8月のヒロシマを訪れる。彼女は「ヒロシマの記憶」をテーマに取材を始めるが、次第に母国ドイツの歴史と向き合い、そして母と訪れた70年代の広島を思い出してゆく。

物語と並行して流れる広島の現実の時間。女優ジルバーナ・クラパッチ演じるヨハンナが向き合う出演者はみな広島で暮らす人々。それは被爆者であり、その子孫たち。

彼女はヨハンナ役を演じつつも、一人の人間としての対応を迫られ、ドキュメンタリーとフィクションのはざ間をさまよう。



2009年夏の平和記念式典前後に広島で撮影。主人公が資料館で被爆証言(松本都美子さん)を聞いたり、広島市観光ボランティアガイドの案内で広島城を巡るシーンや、式典の準備を見たり、式典に参列するため早朝に平和記念公園に入る様子などをドキュメンタリーで撮影。

【チケット】

当日券 1000円 (1プログラム)

一日通し券 3000円(12月3日西区民文化センタースタジオ、12月11日横川シネマで上映前に発売・当日のみ使用可)

フリーパス 一万円 (映像文化ライブラリー以外の全有料プログラム上映会場で使用できます)

* 学生はすべて半額になります。学生証を提示してください。